

## ——無線システム化が始まったテラヘルツ波帯通信に関する小特集（英文論文誌 C）論文募集——

無線システム化が始まったテラヘルツ波帯通信に関する小特集編集委員会

IEEE802.11 では、1 Gbit/s 級の無線 LAN の標準化（ac/ad）が終了し、その先を狙った標準化も始まっています。その中で、高ビットレートを実現するために、広帯域性を特徴とした未利用の高周波領域であるテラヘルツ波帯の活用が一つの実現手段として注目されています。従来は、超高周波帯デバイスの研究開発が中心でしたが、ここ数年、無線システム化の研究開発も盛んになってきています。

本小特集（平成 27 年 12 月号）では、100 GHz 以上のテラヘルツ波帯通信技術のみならず、そのためのデバイス技術、高周波回路技術、アンテナ技術、実装技術など、テラヘルツ波帯を活用する無線システムの要素技術やシステム化を取り巻く新しい諸問題について広い問題提起・議論をし、この分野における研究・開発を更に、活発に進展させて頂きたいと考えました。多くの皆様の積極的な御投稿をお願い致します。

### 1. 対象分野

主な分野は以下のとおりですが、これらに限定するものではありません。

- ・無線システム技術
- ・化合物半導体デバイス技術
- ・Si CMOS デバイス技術
- ・真空管増幅器技術
- ・高周波回路技術
- ・アンテナ技術
- ・デバイス実装技術
- ・無線チャンネルモデリング技術
- ・電磁界解析技術
- ・超高周波計測技術
- ・ワイヤレス回路技術
- ・メタマテリアル技術

### 2. 論文の執筆と取扱い

本小特集ではペーパーとブリーフペーパーのみ受け付けます。原則として刷り上がりペーパー 8 ページ、ブリーフペーパー 3 ページ以内とします。詳細は Information for Authors ([http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji\\_es.html](http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_es.html)) を御参照下さい。査読後の再提出期間（通常は 60 日）を短縮する場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。本小特集への論文投稿については下記を御参照下さい。

### 3. 投稿方法

査読作業の円滑化を図るため、本小特集では論文の電子投稿を行います。以下の手順で御投稿下さい。

[https://review.ieice.org/regist/regist\\_baseinfo\\_e.aspx](https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx) から登録を行って下さい。なお登録時には必ず“Journal/Section”で [Special-TW] Terahertz waves coming to the real world を選択して下さい。[Regular-EC] を選択しないで下さい。

### 4. 論文投稿締切日 平成 27 年 4 月 1 日（水）必着

### 5. 問合せ先

矢板 信 日本電信電話株式会社 NTT 先端集積デバイス研究所  
〒243-0198 厚木市森の里若宮 3-1  
TEL [046] 240-3752, FAX [046] 240-4041, E-mail : yaita.makoto@lab.ntt.co.jp

### 6. 小特集編集委員会

委員長 中舎安宏（富士通研）  
ゲストエディタ 寶迫 巖（NICT）  
幹事 矢板 信（NTT）、笠松章史（NICT）  
委員 伊藤 弘（北里大）、鈴木左文（東工大）、野竹孝志（理研）、味戸克裕（NTT）、ソン ホジン（NTT）、田島卓郎（NTT）、久々津直哉（ATR）、川野陽一（富士通研）

### 7. 重要なお知らせ

Web による電子投稿の際、“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”に承諾して頂きます。

投稿に際しては、著者のうち少なくとも一名は本会会員でなければなりません。

ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。